

効果 1 走行時間の短縮

外かんを利用することにより、各地への所要時間が大幅に短縮され、行動範囲も広がります。

市川市役所～埼玉スタジアム2002
整備前75分 → 整備後35分 **40分短縮**

松戸市役所～東京ディズニーリゾート
整備前70分 → 整備後40分 **30分短縮**

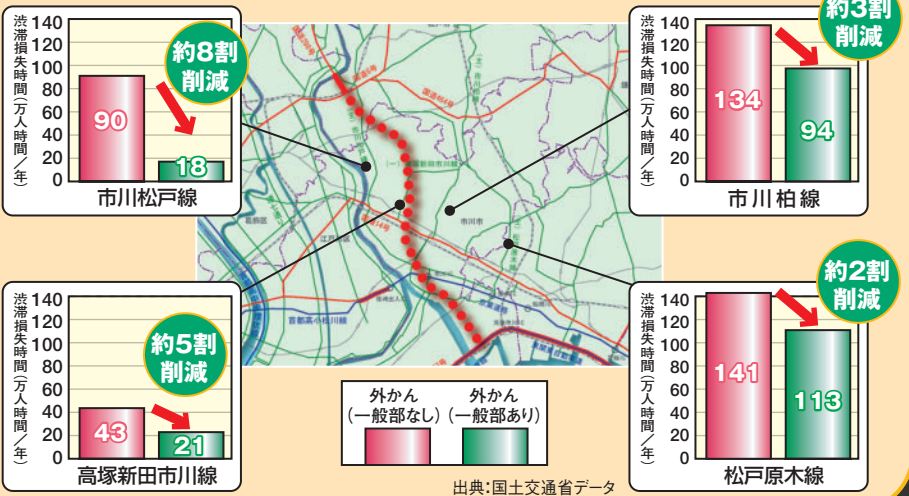


千葉外かん一般部の整備による渋滞損失時間の減少

(主)市川松戸線・(県)松戸原木線では、交通渋滞損失額は約6割～8割減少し、市内の渋滞が大幅に緩和します。

走行時間の短縮効果は、1年当たり市川市全域では約360億円、松戸市全域では約260億円となります。

また、外かんの効果は都内等広範囲に及び、その他分が約1,100億円、総和では約1,700億円になると試算されています。



効果 2 生活道路の安全性向上

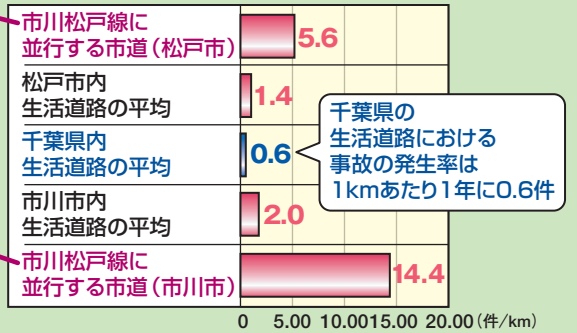
外かんの整備によって、幹線道路の混雑を避けて生活道路に入り込む交通が減少し、生活道路の安全性向上、環境の改善が図られます。また、交通事故の減少も期待されています。



現状



◆事故の予測を正確に行うことは困難ですが・・・
1日1人強が交通事故被害にあり、
1年当たり数名の命が失われる可能性

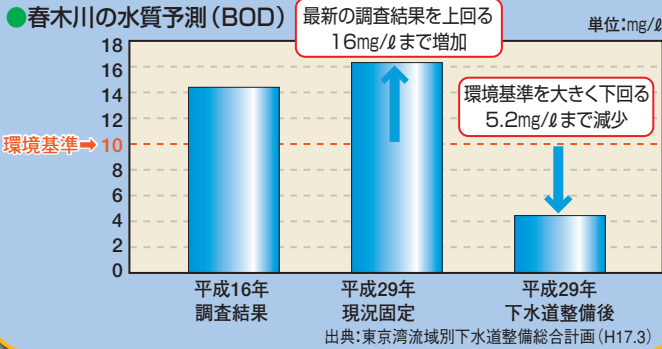


市川市・松戸市の生活道路では、年間約5,000件の交通事故が発生しており、交通事故の発生状況は県内平均の約3倍となっています。市川松戸線に平行する生活道路では県内平均の約7倍を超えています。

出典：平成16年交通事故統計データ、平成16年千葉県道路現況調査書、平成16年千葉県警集計資料より作成

効果 3 下水道整備による 河川水質改善効果

外かんが整備され、松戸幹線などの下水道整備が進むと、周辺河川の水質改善につながります。



効果 4 みどり豊かな 道路空間の創造

道路沿線に植樹帯を設け、みどり豊かな道路空間が生まれます。

●環境保全空間整備イメージ



効果 5 大気環境の改善

外かんが整備されると、CO₂が年間約15万トン削減^{*1}されると予測されています。これを森林のCO₂吸収量に換算すると、松戸市と市川市をあわせた面積^{*2}の約1.2倍にあたります。

二酸化炭素 (CO₂)
約15万t-CO₂/年削減

窒素酸化物 (NO_x)
約800t/年削減

浮遊粒子状物質 (SPM)
約80t/年削減



約1.4万haの面積の森が
二酸化炭素を吸収したのと同じ効果が
もたらされます!

×1.2倍

※1 算出範囲は1都3県及び茨城県南部
※2 松戸市: 6133ha 市川市: 5639ha
※ 森林のCO₂吸収量は、10.6t-CO₂/ha・年とした。

出典:「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイダンス(優良手法指針)」

効果 6 防災空間として機能

広い道路空間は、地震などの災害時の一時的な避難路や緊急輸送路、火災の延焼防止などの防災空間として機能し、地域の安全性の向上に貢献します。



効果 7 生活関連施設の収容

地下部分が電気・電話・ガス・上下水道などのライフラインを収容する空間として機能し、歩行空間の通行機能や景観の向上に寄与します。

